



清里まちづくり協議会事務局／〒370-3573 前橋市青梨子町339 (清里公民館内) TEL 027-251-9005 FAX 027-255-0341

きよさと焼教室取材 【食育部会】

7月12日(金)、清里小の3年生41名を対象に「きよさと焼教室」を開催しました。今年は、地域の方と小学生が地域の特産品を使って活動する様子を県の番組で放映していただくことで、群馬テレビのカメラ取材の中での開催でした。1グループ6～7人で各グループに地域の担当者がつきます。作り方の説明を始めると身を乗り出し、焼き手の動作に合わせ身体と目が動き真剣な姿が伝わってきました。各テーブルでの生地作りでは、卵を割る人、野菜等をボールに入れる人など分担で手際よく動き、焼きの場面では、生地をフライで返すことが難しいのですが、出来たときは笑顔で喜び会い、みんなで協力して仕上げていました。テレビ取材の中での「きよさと焼き教室」でしたが、皆さん緊張しつつも和やかな雰囲気の中で進められました。最後にインタビューを受けながらみんなで協力して作った「きよさと焼」を美味しくいただきました。



きよさと焼教室 群馬テレビ放映

◇放送予定日

令和元年11月14日(木)

19:30～20:00

(再放送11月16日(土)8:00～8:30)

◇番組 はばたけ!ぐんまの子どもたち



枝豆刈り取り・豆出し 【食育部会】

去る7月28日(日)、清里地区恒例の「枝豆収穫」を行いました。これは、子ども達に食育の一貫として、種まきから収穫までの農作業を体験してもらい、あわせて一年分の「きよさと焼」用枝豆を確保する事業です。

今年は、5月31日に役員で植え付けました。収穫は地域の児童や保護者、地域おこし協力隊の皆さん達と一緒に大きく育った枝豆を引き抜き、公民館で豆もぎ、豆の取り出し作業を行いました。

今年は台風が心配されたため、前日のうちに役員が集まり一部



むくぞう君

収穫しておきましたが、当日分と含め参加した皆さんには沢山お持ち帰りいただきました。

ご家庭で「つまみ」や「おやつ」として食していただけたと思います。

また、昨年に引き続き利根実業高校の皆さんが豆むき機の「むくゾウくん」を3台も持参してくれました。

今後の一年間、行事等で使用する「きよさと焼」の枝豆が確保され、ひと安心です。

皆さんのご協力大変ありがとうございました。



前日、役員による抜き取り



当日の子ども達



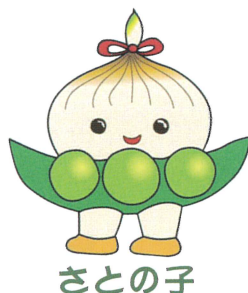
豆出し



豆もぎ



一年分の豆が確保できました



さとの子



豆もぎ

ており、有志の俳句もつくられていきます。満開の桜を是非見てください。また池端町では、毎年11月に十日夜祭を行います。老人会から子どもまで幅広い世代の方が集い、紙芝居、餅つき大会、わら鉄砲つくりなどで世代を越えて交流します。これからも他地区とは一味違う池端地区の各種行事が続いてほしいと願っています。



十日夜、わら鉄砲つくり



ソメイヨシノとしだれ桜

以前、池端地域の西側を流れる八幡川沿いはゴミ捨て場のような状況でした。見かねた町の有志約20名が12年前にきれいにし、ソメイヨシノとしだれ桜を50本程植えてくれました。今では、その桜が3月下旬から4月上旬にかけて満開となり見事な景色となります。時期には、地域の皆さんで花見をしています。

桜並木と十日夜祭

池端町

上青梨子町

納涼祭と甲子園

上青梨子町では、8月3日、淡嶋神社の境内で納涼祭を行いました。夕方、子育連のデイキャンプから帰ってきた子どもたちも参加し、伝統の盆踊り、スイカ割、焼きそば、かき氷、焼きまんじゅうなど地域の皆さんと楽しみました。

また今夏、甲子園に出場した前橋育英高校3年の高橋幸佑さんから皆さんへ感謝の手記が届いています。『この度、第101回甲子園大会に出場させていただきました。結果は初戦敗退という悔しい結果でしたが、2年半本気で日本一を目指して取り組んだことは一生の財産になると思います。多くの方に支えられ野球に取り組むことができ、本当に幸せな時間を過ごせました。勝って恩返しはできませんでしたが、応援いただいた多くの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのご声援、ご支援本当にありがとうございました。人への感謝の気持ち忘れず、これからも頑張っています。』



上青梨子町盆踊り

青梨子町

さつまいもで世代間交流

青梨子町の行事に「さつまいもの栽培」があります。5月の苗の植え付けや10月の収穫時には地区内の子ども達から高齢者までが集い、子ども達の作業を高齢者がやさしくサポートしています。さつまいものイメージは世代

によってさまざまですが、最近ではねつとり系からほく系までさまざま。また人気品種が登場しています。



いも苗の植え付け

八幡神社の東隣のさつまいも畑には5月に植付けた代表的な3品種が盛んにつるを伸ばし豊作の予感があります。10月の収穫が楽しみです。天気に左右される行事ですが、役員さん達の熱意と努力で今年も見事に引き継がれました。高齢者の知恵や、世界の半分が飢えに苦しんでいる中、食べ物栽培する苦労や収穫の喜びが子ども達に少しでも伝わればいいなと思います。

青梨子町前原

前原納涼祭

7月27日に恒例の納涼祭を開催し、多くの地元住民の方にお越しいただきました。当日の夕方から、神主さんのお祓いを済ませた二基の子ども神輿が巡幸コースを練り歩き、子ども達も真剣に汗びっしょりで頑張ってくれました。きつとひと夏の思い出としてしっかりと子ども達の心にも刻まれた事と思います。その後も各種ゲーム、スイカ割り、子ども八木節、盆踊り、だんべえ踊りなどを地域の皆さんで楽しみました。また模擬店では、今年から農協さんにも参加していただき、地元の農産物や焼きそばもほぼ完売と大好評。最後は参加者が一番楽しみにしていた大抽選会で大盛り上がりの中に幕を閉じました。各種イベントの出演者の皆様を始め、地域住民の皆様、実行委員会の皆様のお力添えで楽しく無事に終えることができました。本当に有難うございました。



だんべえ部会

お疲れ様でした！

清野町

野良犬獅子舞の練習

小学校の夏休み期間、町内の子ども、大人の氏子をあげて、獅子舞の練習を行いました。毎年子供会行事に合わせて、秋の例大祭に向けて、頑張っています。現在、清野町に住む子ども全員を対象に、男の子は舞を、女の子は笛を担当し、各指導者の元、繰り返し練習に取り組んでいます。



令和元年夏休み獅子舞練習風景

獅子舞

笛

世代の交流が図れ、清野町の伝統行事が継承されています。子ども達の真剣で力の入った練習を見ていると故郷清野町を心に、大きく成長して貰いたいと願っています。

花はな便り

花いっぱい運動部会

今年は、例年に比べ雨が多く遅い梅雨明けでした。その後は猛暑続きで花々にとつては過酷な日々でしたが雑草はぐんぐんと伸びます。花はな花壇の手入れに汗を流していただいた部会員の皆さんには、本当にお疲れさまでした。花壇も少しずつ秋の草花へと様子を变えています。

この夏、笠井工業さんのご協力により4基のオベリスクを作っていただき3基を花はな

花壇に、1基を前原

花壇に設置しまし

た。花はな花壇では、

すでに「ドリチヨス

・ラブラブ・ビーン

ズ」というマメ科の

珍しい花のツルが

勢いよく絡み始め

ています。ピンクの

花も名前も可愛く、



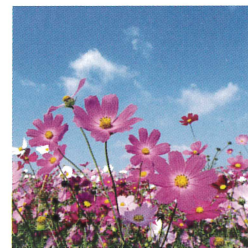
ドリチヨスの花
(タキイ種苗 HPより転用)



ドリチヨスの実
(タキイ種苗 HPより転用)



に思います。我が家の秋明菊(しゅうめいぎく)もひと月ほど早くもう咲きだしました。秋の花々が咲き誇り、木々も美しく色づく庭。秋のバラは色濃く長く咲いてくれます。移行行く季節の風を感じながらご近所を散策してみてください。



第二回役員会報告

(事務局)

7月10日(水)、清里まちづくり協議会の役員会が開催され、今年度の予算執行状況、きよさと焼教室の開催、枝豆収穫の段取り、来年の「清里ふるさと祭」などの課題について協議しました。今年度予算では、各部会等で必要なものがあれば協議をすること、きよさと焼教室は、当日の段取りの他、県の番組で取り上げたいとの依頼があり、群馬テレビのカメラ取材が入ること、また児童や関係者へのインタビュもあることを確認しました。

また、枝豆の収穫では、子どもたちに畑で枝豆の抜き取りから経験してもらい、その後みんなで豆のもぎ取り作業をする段取りが話し合われました。

来年の「清里ふるさと祭」については、通常の日程では、準備から本番まで丸々東京オリンピックと重なってしまうこと、また清里花火並びに祭自体の実施場所や実施内容等についても今後協議を進めていくことになりました。次の役員会は11月頃を予定しています。各役員さんの属する団体や地域の意見を聞いていただき検討を進める予定ですが、皆さんも「清里ふるさと祭」や清里花火に関するご意見をお聞かせください。

編集後記

今年も暑い夏だった。

皆さんは、どう乗り切りましたか？海や山へ、涼を求めて出かけましたか？海はともかく自分の中では、高原や山岳部は湿気が少なく心地よい風が吹いていて、涼しいイメージがあり避暑には最高である。

また、これからの季節も違った体感を得られる。

高原と言え、地区と同じ地名の誰もが知る「清里高原」がある。

ちよつと調べて見た。清里高原の名は、明治八年に浅川村と檜山村の合併により誕生した「清里村」が由来で、山梨県北杜市高根町清里という正式の地名である。

一方、我々が住む清里は、明治二十二年に青梨子村、上青梨子村、池端村、野良犬村の四村が、青梨子と上青梨子の「青」と池端の「し(さんずい)」に、野良犬の「里(さとへん)」の各文字を合わせて「清里」とし西群馬郡清里村が誕生し、清里村大字青梨子：大字野良犬となった。

清里村は、昭和三十年一月に前橋市へ編入する際に、野良犬は清里村の「清」と野良犬の「野」から清野町とし、現在の地名となったそう。

今でも「清里」はご存知の通り、清里小学校、清里公民館等に名を残している。

(T・T)